

平成29年度北陸地区国立大学学術研究連携支援報告書

研究グループ名	4大学知財・コーディネート活動による産学連携研究会 (支援期間：平成29年度)			
大学名	所属	氏名		
富山大学	研究推進機構 産学連携推進センター 知財・リエゾンオフィス (富山大 TLO)	◎千田 晋、小谷 晴美、今川 昌彦、 高橋 修、岡田 哲朗、金田 佳己、 牧野 士朗		
金沢大学	先端科学・イノベーション推進機構	○目片 強司、喜多 健太		
福井大学	産学官連携本部 知的財産・技術移転部	○樋口 人志、漆崎 行乃利		
北陸先端科学技術 大学院大学	産学官連携推進センター	○山本 外茂男、和田 透、二ツ寺 政友		
注1. 各大学の研究グループ責任者の氏名には○印を、研究グループ代表者には◎印を付してください。 注2. 所属 (その他の機関については職名も) については、平成30年3月末現在を記入してください。				
その他の機関 の 構 成 員	機 関 名	所 属	職 名	氏 名
	大阪府商工労働部中小 企業支援室	ものづくり支 援課	課長補佐 主査	田中 純也 二宮 康宏
成果概要	<p>大学の知財マネジメントにおいて、各校単独出願特許を産学連携に活かすことは大きな課題である。これまでの4大学連携にて、各校保有の単独出願特許の分野別集約を進めてきている。H28に集約した単願特許情報(500件)の企業向け(マッチングハブ等にて)提供に加え、地域中小企業とは「知財(単願等)を切っ掛けとする産学連携」「共同研究への展開」「共同出願から事業展開」へと「進化」させるべきであり、各校コーディネーター連携を含めた北陸地域の中小企業との連携活動が求められている段階と認識、外部資金獲得を通じた活動の活発化を目標とした。</p> <p>4大学の単願600件(H29)のうち約3割がライフサイエンス領域であることからこれらを中心とした技術移転活動をテーマに外部資金(中部経済産業局)に申請(富山大が幹事機関)、採択されCDと中小企業の連携に資するツールの準備、提供を行った。同資金による活動として、発明者の研究情報を整理し、特許出願と関連付け、冊子化し、ライフサイエンス系展示会等でプロモーション活動を行った。主なデータの電子化(単願情報、発明研究者情報)を行い、富山大学産学連携HPにて公開、検索可能とした。中部地域への波及を狙い、同事業へ滋賀医科大、金沢医科大、石川県立大の追加参加協力を得、連携し活動することで地域の大学間連携を拡げることにつながった。</p> <p>また、当初計画の連携活動に外部事業が導入できたことから、4大学知財連携として、基本的知識の充実と関連状況変化への対応を旨に各校で以下の活動を本事業で行った。</p> <p>富山大：セミナー「生物多様性条約」の現状について(1/28)：条約全般及び留意すべき国と手続き、実務上の留意点を中心に情報提供、遠方からも参加あり30名。</p> <p>金沢大：講演会「海外出願と権利活用の基礎」(2/9)：企業、大学より34名が参加</p> <p>福井大：第8回「ふくい知財フォーラム」(3/7)：地域知財を通じた連携</p> <p>北陸先端大：「外から見た北陸4大の連携 ～マンモス私立総合大学における知財マネジメントとの比較～」(1/12)：4大学、経済産業局からも参加あり10名。「特許検索と分析」(2/27)</p> <p>その他スタッフ教育の機会としてUNITTでの情報収集を実施し、情報共有を行った。</p> <p>これら関係者の不断の交流により、H30年度においても円滑に申請、採択につながったものである。</p>			
獲得した外部 資金	<p>【H29採択】・H29 中小企業知的財産活動支援強化事業費補助金(中部経済産業局)、「しらさぎプロジェクト」、幹事法人：富山大学、交付額9,550千円</p> <p>【H30採択】・H30 中小企業知的財産活動支援強化事業費補助金(中部経済産業局)、「しらさぎ2プロジェクト」、交付額5,500千円</p> <p>4大学に加えて、地域経済界(北陸産業活性化センター)、産業界(富山県アルミ産業協会)の連携を得てマーケット情報の入手、地域中小企業(地域未来牽引企業等)への”コーディネート提案型”事業としての展開を目指す。</p> <p>【その他】単願からの提案、申請による共同研究、大型外部資金事業等への展開は各校の成果として割愛する。</p>			